

令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	7. 土木費	大事業	3. (仮称) 佐倉西部自然公園整備事業
項	3. 都市計画費	中事業	
目	6. 公園費	担当所属	公園緑地課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額		
臨時	単独	計画	0	0	7,371	実施計画	第2章	195,350	
							人と自然が調和した安心して暮らせるまち（都市基盤・住環境）	令和3年度	0
							基本施策4	令和4年度	18,764
							施策1	令和5年度	73,356
							市民の憩いの場の充実・活用を推進します	令和6年度	103,230
								令和7年度	0

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	174	
本年度当初査定額	174	16,744

財源内訳	使用料及び手数料						一般財源
本年度当初要求額	174						△174
本年度当初査定額	174						16,570

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) (仮称) 佐倉西部自然公園の整備に向けて、施設整備を予定している用地の購入に向けた測量・鑑定等を実施します。併せて、環境整備のため除草業務などを委託します。</p>	<p>(事業の目的) (仮称) 佐倉西部自然公園整備基本計画に基づき、市民意見を反映しつつ、里山・谷津の景観を保全・再生することで、身近な自然環境にふれ合う機会や、自然から学ぶ機会の創出を図ります。また、里山自然環境を適切に維持保全することで、都市と農村との交流を図り、身近なふるさととの文化の継承を図ります。</p>	<p>(事業の効果) 谷津田と斜面林が一体として残された里山自然環境を保全することで、手繰川・上手繰川の自然環境を借景として、身近な市民の憩いの場を創出することができます。また、保全のための方策として、市民の理解と協力を得ながら公園化を図り、望ましい維持管理を行いながら次世代に貴重な資産として里山自然環境を継承することが可能となります。</p>
<p>(事業実施上の問題点)</p>	<p>(前年度からの見直し点)</p>	<p>(見積についての特記事項)</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
11	4,356	0	4,356
12	12,205	7,808	4,397
18	183	183	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	15	01	06	07	01	00	土地使用料	174	174	174	0
	差引一般財源							△174	16,570	△174	16,744